

【2005年02月期決算説明会 報告骨子】

席上配布資料「フロイント産業株式会社 2005年02月期 決算説明会資料」及び「フロイントグループの業績概況について」とともにご覧ください。

1. フロイントグループの事業概要と各社の活動領域（資料P1）

<説明省略>

2. 2005年02月期、経営成果のイメージ（資料P2）

(1) 機械部門

連結売上高：前期比29.1%増収

親会社の機械部門...前期比32.5%増収

米子会社ベクター社...前期比27.1%増収

連結営業利益：前期比54.7%増益

(2) 化成品部門

連結売上高：前期比1.4%減収

親会社の化成品部門...前期比1.5%減収

米子会社V P S社...前期比36.3%減収

連結営業利益：前期比5.0%減益

3. グループ各社の決算概要（資料P3）

フロイント産業...増収・増益（後記）

フロイント化成...増収・増益（売上の大半はフロイント産業向け）

ベクター社...同社創業（1972年設立）以来、過去最高の売上高を記録

V P S社...大掛りな施設改修工事で受託を一時見合わせ、赤字幅は拡大

4. 2005年02月期、連結損益計算書（資料P4）

(1) 連結売上高：11,013百万円（前期比17.2%増収）

機械部門の売上高は7,398百万円（前期比29.1%増収）

・国内...2005年04月の改正薬事法施行を目前に、医薬品製造受託企業や後発医薬品企業などの活発な設備投資に支えられた

・海外...国際的な後発医薬品企業の積極的な設備投資と営業活動強化策が功を奏した

化成品部門の売上高は3,615百万円（前期比1.4%減収）

(2) 連結営業利益：522百万円（前期比59.3%増益）

・機械部門の売上伸長による売上総利益の増加

・リース契約の再リース契約移行に伴うリース料の軽減

・人件費の伸び率抑制 など、グループ全体で経費を圧縮

(3) 連結経常利益：553百万円（前期比65.0%増益）

・近年の在外子会社に対する資本政策の推進により、為替の変動に左右されにくい経営体質へ転換

・各種支払手数料の軽減を図ったこと など、営業外損益を改善

- (4) 連結当期利益： 285 百万円 (前期比 976.8%増益)
前期 (2004 年 02 月期) の本社移転に関わる一時費用や、米子会社が保有していた繰延税金資産の取り崩しによる特殊要因が無くなる

5 . 部門別売上高・売上高構成比 (資料 P 5)

- (1) 機械部門：前期比 29.1%増収
国内、海外とも高水準の受注残と、期中を通じ好調な受注に支えられる
- (2) 化成品部門：前期比 1.4%減収
医薬品添加剤の需要は引続き伸長、食品品質保持剤も菓子業界の活況と相俟って注分量は高水準で推移も、V P S 社はインフラ整備のため受託を一時見合わせ
2005 年 2 月期は、機械部門の売上伸長により過去最高の連結売上高を記録、機械部門の売上高構成比は 67.2%に上昇

6 . フロイント産業単体の売上高・営業利益の推移 (資料 P 6)

< 2005 年 02 月のセグメント別売上高 >

機械	...4,833 百万円 (前期比 32.5%増収)
医薬品添加剤・治験薬製造受託	...1,578 百万円 (前期比 9.6%減収)
食品品質保持剤・栄養補助食品等	...1,990 百万円 (前期比 5.9%増収)

7 . 連結貸借対照表 (資料 P 7)

機械部門の受注増、売上増にもかかわらず総資産は横這い推移、資産の効率性は向上

8 . 各種収益率の推移 (資料 P 8)

最優先すべき経営目標は営業利益の絶対額確保

売상을伸ばしつつ収益性にも配慮し、中期目標は “ 売上高営業利益率 10% ”

効率性の追求

総資産営業利益率の漸増を図り、社員一人ひとりの意識変革につながる人事制度の見直しや、開発・技術部門と営業部門の連携強化で機会利益を創出し「一人当り営業利益」の向上を図る

9 . 設備投資額および研究開発費の推移 (資料 P 9)

- (1) 設備投資額：2006 年 02 月期は、約 800 百万円を計画
受注が拡大している医薬品添加剤の生産設備の増強やベクター社でも業容拡大にともなう工場増築計画などを計画
- (2) 研究開発費：2006 年 02 月期は、約 350 百万円を計画

10 . 中期的な経営戦略・課題 (資料 P 10)

< 説明省略 >

11 . 2006 年 2 月期業績予想 (資料 P 11)

< 説明省略 >

12.最後に

国内製薬企業は経営統合など再編成の時代を迎えており、さらに薬価改定の影響等も懸念され、国内機械部門は苦戦が予想されるが、

- ・ベクター社は堅調な業績により、さらに売上高の記録を更新する見込み
- ・VPS社は治験薬製造受託事業の再開により、黒字転換を図りたい

医薬品添加剤の生産設備増強にともなう本格的な業績への寄与は来期以降となるも、食品品質保持剤、健康食品関連の売上とも堅調に推移する見通し

以上